

# 9月の星空まっぷ

[9月中旬、午後8時頃に見える星空]

2021.9

星爺(ほしじい)

## -9月の「天の川」-

### なんとって一番さ!

一説によると、9月に見える天の川が、一番きれいに見るとのことじゃ。なるほど見たまえ、頭上の夜空を北東~南西にかけて真っ二つに割るように天の川が流れておる。この見事な天の川こそ、夏の風物詩「天の川」じゃ。なに、見たことが無いってか!! そうですね、天の川の名前は知ってる、写真では見たことあるって言う声は良く耳にするのう。そうじゃな、今の時代、夜の世界はどこもかしこも灯りで一杯じゃから、見たくても見えないんじゃない。だからこそ9月の夜空に「天の川」をぜひ見上げようぞ。

### ひときわ明るく輝く

#### 木星と土星を観察しよう!

南の空を見てみよう。明るく輝く星が見えるはずじゃ。見ごろを迎えた、木星と土星じゃ。どちらもガスでできた巨大惑星で、直径はなんと地球の10倍前後もある。残念ながら、木星の縞もようや土星の輪っかは肉眼では見えないが、テレビや本で見たことがあるはず。この夏ぜひ、天の川とともに木星と土星の輝きをじっくり観察して見よう!

#### 【星空まっぷの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぷをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね!

コロナは変異デルタ株が猛威を振るい、気候変動を感じさせる災害多発。何ともやり切れないのう。そんな中でも、星空は、人々の心をきっと癒やしてくれる。さあ9月の星空にこんにちをしよう!

うん。僕も何だかとっても悲しい。きれいな星空見れば、心もきっとスッキリするね。9月は絶対、星空を見るぞ!

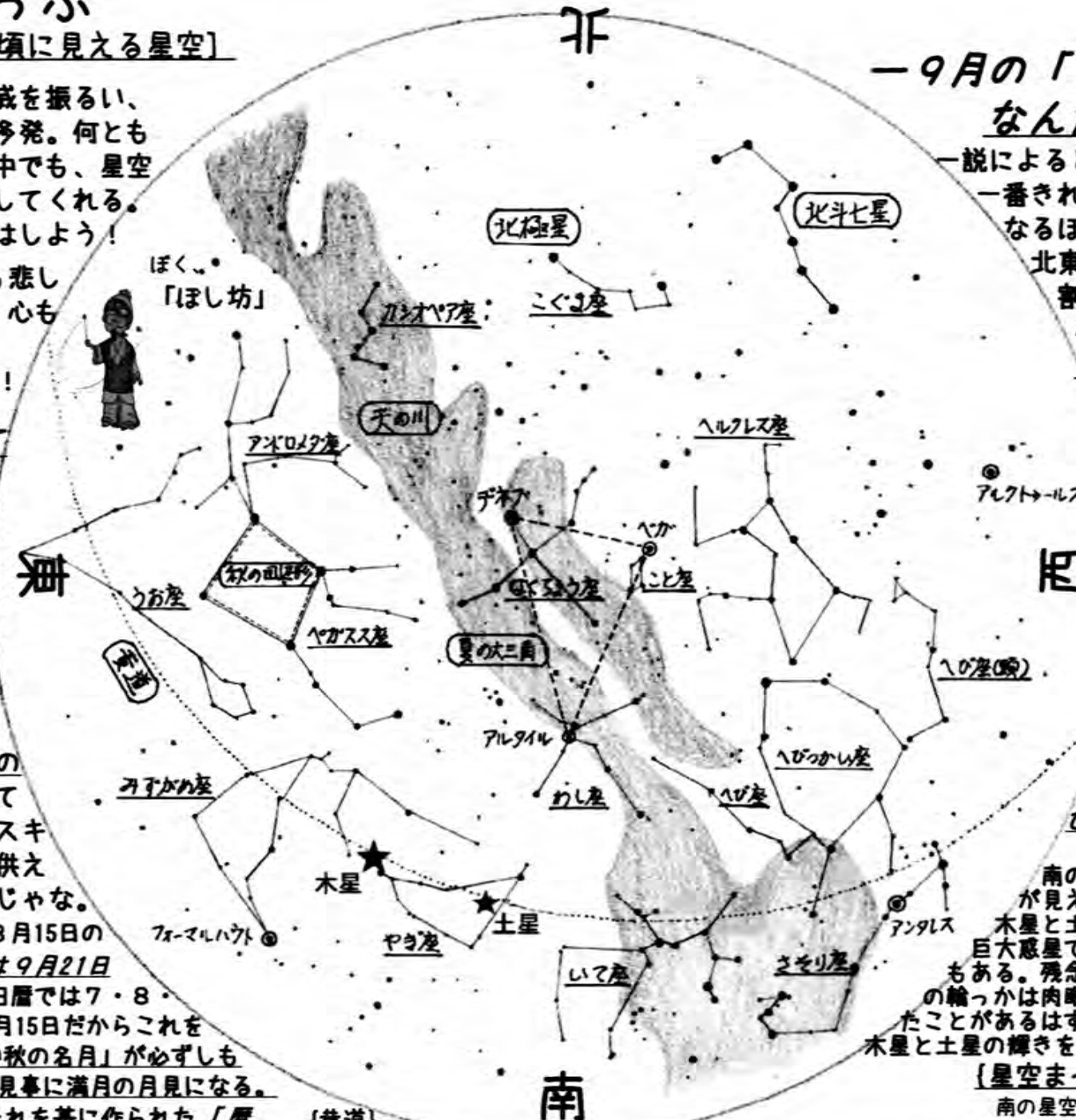
## 「中秋の名月」って何だろう?!

この時期になると、「中秋の名月」(\*)なることを良く耳にする。日本では古来より、秋の澄んだ夜空に昇る丸い月を「中秋の名月」と呼んで、これを愛でる風習が見られる。

「お月見」は、旧暦(\*)の伝統行事の一つ。月に見立てた団子、イネに見立てたススキなど、その時期の作物をお供えして収穫を感謝する習わしじゃな。

\* 「中秋の名月」とは、旧暦8月15日の夜に見える月のこと。今年(2021)は9月21日(火)がこの日に当たる。旧暦では7・8・9月が秋で、その真ん中の8月15日だからこれを「中秋」と呼んでいる。「中秋の名月」が必ずしも満月とは限らないが、今年は見事に満月の月見になる。

\* 旧暦とは、月の満ち欠けやそれを基に作られた「暦(こよみ)」で、人々の生活と深く関わるさまざまな風習や伝統が今に伝えられている。



〔黄道〕 天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道

● 1等星以上  
● 2等星  
● 3等星  
● 4等星以下